

執筆要綱

1. ページレイアウト

Word データでの提出を原則とする。

用紙：A4 版縦置き、1 段組横書き

余白：上 35mm、左右と下 30mm

1 ページ：38 行×42 文字（本文は 10.5 ポイント、明朝体）

2. 原稿の長さ

1) 研究論文及び実践知論文は、原則 16 ページとする。

2) 研究ノート及び、その他（教育実践報告、研究レビュー、資料等）は、原則 8 ページ以内、その他（書評）は、原則 2 ページ以内、共同研究報告は 4 ページを基準とする。

3) 特集論説は、6 ページを基準とする。

いずれも、刷り上りが偶数ページであること。

3. 原稿の構成

原稿には、本文の他に次のものを含む。

① 標題、著者名、著者の所属 ② 日本語による概要 ③ 日本語キーワード

④ 英語による概要 ⑤ 英語キーワード ⑥ 図・表等 ⑦ 参考文献

また、②および④については研究論文及び実践知論文のみ掲載。

本 文

①日本語文は原則として常用漢字、現代かなづかいを用い、横書きとする。

②数字は算用数字を使用する。

③外国人名等の固有名詞は、原綴りあるいは英語綴りを原則とするが、公式の名称等として著名なものはカタカナでもよい。

④専門用語は特殊なものを除き、原則として日本語を用いる。原語を併記する必要がある場合は、日本語の次に記載する。

⑤専門用語を略記する場合は、初出のときにその全綴りも付記する。

⑥章・節等の記号をつける場合には、章にあたるものは 1. 2. ……とし、第 1 章第 1 節にあたるものは、1.1 のようにする。以下、これに準ずる。

標 題

14 ポイント太字 1 行で表記する。1 行で入らない場合 12 ポイントで 1 行とする。

英語の標題をその下に入れる。英語のタイトル（標題）について、単語の最初のアルファベットを大文字にすること。

著者名

著者名は所属、地位をいれずにタイトルの右下に 12 ポイントで入れる。ローマ字表記を付記する。

著者の所属

下記に統一のこと。

日本語	英語
多摩大学学長	Tama University President
多摩大学経営情報学部	School of Management and Information Sciences, Tama University
多摩大学経営情報学部教務課	Academic Affairs Division, School of Management and Information Sciences, Tama University
多摩大学経営情報学部 ALC 事務課・図書館	Active Learning Center, School of Management and Information Sciences, Tama University
多摩大学経営情報学部入試課	Admission Division, School of Management and Information Sciences, Tama University
多摩大学グローバルスタディーズ学部	School of Global Studies, Tama University
多摩大学大学院	Tama Graduate School of Business, Tama University
多摩大学目黒中学校・高等学校	Meguro High School and Junior High School, Tama University
多摩大学附属聖ヶ丘中学校・高等学校	Hijirigaoka High School and Junior High School, Tama University

上記以外（他大学所属等）については特段定めない。

概要

研究論文及び実践知論文には日本語と英語による概要を入れる。ただし、本文が英語の場合は英語のみで可とする。語数は100語～200語を目安とする。

上記以外には概要をつけない。

キーワード

日本語と英語によるキーワードをそれぞれ最大限10個、必ず付与する。ただし、本文が英語の場合は英語のみで可とする。

表. 原稿種類による概要、キーワードの要否

原稿種類	概要	キーワード
特集論説	×	○
研究論文	○	○
実践知論文	○	○
研究ノート	×	○
その他 (教育実践報告、研究レビュー、資料等)	×	○
(書評)	×	×
共同研究報告	×	○

※概要およびキーワードについては下記①～④の順で掲載のこと

①日本語による概要、②日本語キーワード、③英語による概要、④英語キーワード

図・表等

そのまま原稿にレイアウトすること。

表は上部、図は下部に、図1 (Fig.1)、表1 (Tab.1) のような一連番号をつける。

参考文献

参考文献は本文の最後にまとめて記載する。記載方法は、次の a)か b)のいずれか一方とする。

a) 参考文献の引用は、本文上の出現順に(1)、(2)、(3)……[1]、[2]、[3]……と一連番号を付けて記載する。参考文献リストの順番は、引用での出現順として、各参考文献の先頭に出現順の番号 1.2.3 をつけて記載する。

b) 参考文献の引用は、著者（西暦年）により記載する。

参考文献リストの順番は、著者名のアルファベット順に、同一著者の中では出版年順に配列して記載する。

著者が3人以上の場合には初出の際には全著者の姓を書き、2度目以降は第1著者の姓を書き、和参考文献では“他”、欧参考文献には“et al”を書き添える。

欧文原稿の参考文献の場合は、APA Publication Manual の規程に準ずる。

参考文献の記載事項

雑誌記事等

著者名、論文名、誌名、巻・号、頁（参照される特定部分のページ、または最初と最後のページ）、刊行年。

和文雑誌の誌名の省略形にしない。但し、慣用された省略形がある場合は、それに従ってもよい。

欧文雑誌の誌名の省略形は、標準（ISO/R4 など）の誌名略記法に従う。

単行本

著者名、書名、版次、出版社、出版年、頁数、叢書名（シリーズの場合）

なお、ネットからの参考文献については、最後に、Retrieved from URL、アクセスした日付を追記する。

注記

脚注は、一連番号を参照箇所の右肩に 1、2 のように書き、原稿のそのページの下にそのたびに書く。

以上

平成8年9月	紀要編集委員会制定
平成11年12月	紀要編集委員会一部改訂
平成14年10月	紀要編集委員会一部改訂
平成19年7月	紀要編集委員会一部改訂
平成22年3月	紀要編集委員会一部改訂
平成24年7月	研究紀要編集委員会一部改訂
平成25年4月	研究紀要編集委員会一部改訂
平成26年3月	研究紀要編集委員会一部改訂
令和元年5月	研究活性化委員会一部改訂
令和2年5月	研究活性化委員会一部改訂
令和3年6月	研究活性化委員会一部改訂
令和3年7月	研究活性化委員会一部改訂
令和4年1月	研究活性化委員会一部改訂